

東京歴史科学研究会2014年度歴史学入門講座

日本軍「慰安婦」問題と 歴史学

講師: **吉見義明**氏 (中央大学教授)

著作:『従軍慰安婦』(岩波新書)、『日本軍「慰安婦」制度とは何か』(岩波ブックレット)、『焼跡からのデモクラシー—草の根の占領期体験—』、『毒ガスと日本軍』(以上、岩波書店)、『草の根のフアシズム—日本民衆の戦争体験—』(東京大学出版会)など

1991年、元日本軍「慰安婦」であった^{キムハクソン}金学順さんが、日本政府に謝罪と賠償を求めて名乗り出ました。それから20年以上の間、「慰安婦」問題の解決を求める運動が粘り強く展開されてきました。しかし、いまだに被害女性たちの名誉と尊厳は回復されていません。それどころか、政治家から被害事実を歪める発言が相次ぐとともに、インターネットなどで「慰安婦」問題に関して誤った情報が拡散されています。

それでは、「慰安婦」問題をめぐって、歴史学はいかなる役割を果たすことができるのでしょうか。「慰安婦」問題とどのように向き合っていくかを考えるために、今年度の入門講座では「慰安婦」研究の第一人者である吉見義明氏にご講演いただきます。

日時:2014年7月19日(土) 14時開始(13時半開場)

会場:立教大学池袋キャンパス14号館D201(池袋駅西口より徒歩約7分)

参加費:600円 ※事前申し込み不要。直接会場にお越しください。

東京歴史科学研究会

TEL/FAX 03-3949-3749 e-mail:torekiken@gmail.com
〒114-0023 東京都北区滝野川 2-32-10-222 (歴科協気付)